レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Prognostic factors in 1,521 melanoma patients with distant metastases.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	J Am Coll Surg.	
	雑誌 ID		
	巻	181	
	号	3	
	ページ	193-201	
	ISSN ナンバー	1072-7515 (Print)	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1995	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Barth A,	John Wayne Cancer Institute, Saint John's Hospital and Health Center, Santa Monica,
その他著者 1		Wanek LA,	
その他著者 2		Morton DL.	
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	病期 IV の患者の予後因子と時代とともに変遷してきた治療種による生存率への影響を調べる
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	重要な因子は、遠隔転移部位、遠隔転移前の無病生存期間、遠隔転移前の病期である。転移臓器毎の生存期間中央値と 5 年生存率は、それぞれ、皮膚、リンパ節、消化管：12.5 ヶ月、14%、肺：8.3 ヶ月、4%、肝、脳、骨：4.4 ヶ月、3%。22 年間で治療による生存率の変化はなかった。
	結論	明らかにされた 3 つの予後因子は、今後の臨床試験の計画において考慮されるべきである。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	宇原 久
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (IV) 1 5 2 1 人と多数の症例について検討した、重要なデータである。